

Catalogue No.

20495-882

食器のお取り扱いについて

【陶磁器共通の注意事項】

- 陶磁器はワレモノです。衝撃を与えやすと破損する恐れがありますので、取り扱いには十分ご注意ください。
- 陶磁器は急激な温度変化に弱く、熱くなった器を冷水につけたり、冷たい器を急激に熱したりすると破損する恐れがありますので、取り扱いには十分ご注意ください。
- テーブル等の上では引きずらないようご注意ください。表面を傷つける場合があります。
必要に応じてテーブルマット等をご使用ください。
- 洗浄する際は、台所洗剤を柔らかいスポンジや布につけて洗い、よく水気を切り乾燥させてから収納してください。
- 金属たわし、研磨剤入りの洗剤は傷をつける原因になりますので使用しないでください。

【陶器(土物)】

- 陶器は磁器と違い吸水性がありますので、ご使用後は十分に乾燥させてから収納してください。
乾燥が不十分ですと、カビや臭いの原因となります。
- 土ものはご使用前にお湯に浸して生地に水を含ませておくこと茶渋やシミが付きにくくなります。

【土鍋や陶板などの直火対応の陶器】

- ご使用中、またはその後、本体が非常に熱くなりますので直接触れないでください。
火傷をしないように注意し必ず鍋つかみ等を使用して下さい。
- てんぷら・フライ等の「揚げ物」には危険です。絶対に使用しないで下さい。火災になる恐れがあります。
- 「空炊き」をしないで下さい。
- テーブル等に置くときには、テーブル表面を傷つけないように必ず鍋敷きを使用して下さい。
- 破損の原因となりますので、本体が熱い状態で急に冷たい所へ置いたり、水に浸けたりしないようご注意ください。
- ご使用後は、カビ・臭気防止の為に良く洗って風通しの良いところで完全に乾燥してから収納して下さい。

【ガラス製品】

- ガラス製品はワレモノです。衝撃を与えやすと破損する恐れがありますので、取り扱いには十分ご注意下さい。
- ガラス製品は急激な温度変化に弱く、熱くなった器に冷たいものを入れたり、濡れた所に置くなどいたしますと破損する恐れがあります。
- 洗浄する際は、台所用洗剤を柔らかいスポンジや布につけて洗って下さい。金属たわし、研磨剤入りの洗剤などは、
キズや破損の原因になりますので使用しないでください。ガラスコップ内面を洗うときは柄付スポンジのご使用をお勧めします。
- ガラス表面は刃物で擦ると傷つく恐れがありますので、刃物は使用しないでください。
- 割れや欠け、ヒビが入った製品は、思わぬケガをする場合がありますので、使用しないでください。
- 全面物理強化ガラスは、キズなどによる破損の際、破片が激しく飛散することがありますので、お取り扱いには十分注意してご使用下さい。

【木製品】

- 食器洗浄機でのご使用はしないでください。
- 長時間水に浸したり、濡れたままの状態では置かないで下さい。カビや変形、変色等の原因になります。
- 洗浄の際は固く絞った布巾等で拭いていただき、よく乾燥させてから保管して下さい。
- 金属たわしや目の粗いスポンジで擦らないでください。
- 竹製品の場合は、素材の特性上ささくれなどがある場合がございますので、取り扱いには十分ご注意下さい。
- 木製品は天然素材の為、多少の色合いのばらつきが生じますのでご了承ください。